

令和4年10月11日

江 東 区 書 館

第二次江東区こども読書活動推進計画の評価について

1 計画の概要

「子どもの読書活動の推進に関する法律」、国や都の計画に基づき、本区におけるこどもの読書活動推進に関する施策の方向性や取り組みを示す計画

2 計画の目標

計画の柱 地域が協働して育む、豊かなこどもの読書環境づくりの推進

年代別達成目標

- (1) 乳幼児 「本と出会い、本に親しむ」
- (2) 小学生 「本に興味を持ち、自ら本を楽しむ」
- (3) 中学・高校生 「本を活用し、生きる力を身につける」

3 計画期間

平成28年度から令和3年度

(新型コロナウイルス感染症の影響により計画期間を1年延長)

4 二次計画取組実績

(1) 成長段階に合わせた具体的な取組

①乳幼児への取組

- ・乳幼児向けのブックリストの配布部数を増刷し、乳幼児世帯全体をフォローできるよう拡充した。
- ・保健相談所や子育て支援施設等出張おはなし会を実施し、より多くのこどもたちが絵本にふれる機会を創出した。

②小中学生への取組

- ・小学生向け、中学生向けのブックリストを全小中学校の児童・生徒に配布し、読書活動や図書館利用の啓発を進めた。
- ・様々な図書館のイベントを通じて、図書館への関心や読書の楽しみを見つける機会を提供した。

③高校生への取組

- ・高校との連携事業の図書館広報誌への掲載や、TEENS 向け新着図書や人気の本の図書館ホームページへの掲載を行った。
- ・図書委員によるおすすめ本の手作り POP 展示会を開催し、読書から遠ざかりがちな高校生に本との出会いの場を創出した。

④特別な支援を必要とする児童への取組

- ・こども向けの録音図書を製作し、録音図書の蔵書数が毎年度増加した。
- ・デジタル録音図書「マルチメディアデイジー」の受入を令和2年度より開始し、録音図書の充実を図った。

(2) 読書活動支援に関わる人材の育成

- ・平成30年度から修了要件と講座の構成の見直しを行い、実践的な講座内容を取入れたことで、ボランティア登録後に活躍できる人材を増やすことができた。

(3) 啓発・広報

- ・「子ども読書の日」や「読書週間」におはなし会や福袋、クイズラリーなどのイベントを実施し、全ての年代のこどもへ読書活動の啓発ができるよう取組みを進めた。

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据えた取組

- ・オリンピック・パラリンピックに関する資料の収集と展示を実施し、調べ学習等の支援や各国の文化、言語及び歴史への興味・関心を高めることができた。

5 二次計画期間の総評

- (1) 令和2年度までに開館日数の増や開館時間の延長を図るとともに、指定管理者制度を導入し指定管理者のノウハウを生かしたこども向けの取組を充実させた。
- (2) 令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルスの影響により、休館やサービスの縮小があったが、オンラインを活用した講座など、社会状況に合わせたサービスを新たに実施した。
- (3) 親子や友達同士で会話や相談をしながら利用できる図書館として、こどもプラザ図書館の開設準備を進め、令和4年5月に開設した。
- (4) 中高生世代の読書離れへのさらなる対応などが今後の課題として挙げられるが、これまで実施してきた取組を引き続き着実に進めるとともに、ICTの活用や学校等との連携をさらに進めこどもの読書活動について推進していく。